

○図表2-5 「共生型地域活力社会」(G空間×ICTで、「活力ある地域」を実現)(イメージ②)

- 圃場のm単位の土壌状況や作物生育状況、周辺の気候情報等がマッシュアップされた3D高精度空間地図を用いて、AI農耕機が、m単位で耕作の強度を変化させる等、超高性能農業を実現。
- 海底面の高精度測位を常時行い、平時は資源探査、災害時は津波の到着場所・時間を瞬時に予測。

農業、林業



森林

- ・ 農地・森林情報、作業員や車両等の位置情報の共有による連携
- ・ 空中写真やリモートセンシングからの情報解析
- ・ 衛星測位、ロボットを用いた資源量予測管理
- 森林資源の精緻な将来予測、林業の自動化




農業

- ・ 農地の現況管理 (営農管理、施設管理等)
- ・ 気象、物価や市況などの社会データ活用
- ・ ロボットを活用した生産性、品質の向上
- 生産管理の高度化



作業員の負荷軽減

- ・ 限定区画における 移動体挙動情報とセンサネットワークの連携により 作業の自動制御、作業員の配分調整等が可能 (水温センサ履歴、走行、挙動履歴情報)



水産業・海洋

漁業

- ・ 無線による漁船位置情報の収集
- ・ 漁船向けデータ配信(市況、気象等)
- 水産資源管理の実現、安全性・効率性の向上



輻輳海域

- ・ 個々の船や漁具の測位、情報共有
- ・ 外洋観測情報(気象/海象)の活用
- 衝突防止機能、海難事故回避のシステム

海洋地理空間の可視化

- ・ 海洋資源の管理、探索
- ・ 海洋環境のモニタリング、保全
- ・ 環境保護団体、研究機関、観光業者等との情報共有システム



港湾

- ・ 船舶保安情報連絡の可視化
- ・ 水先業務支援システムの実現
- 自動着岸誘導システムの構築



外洋

- ・ 船員のバイタルセンシング
- ・ 外洋観測情報(気象/海象)の活用
- 船位データを核とした船舶クラウドの実現